

Round Table

座談会

Discussion



司会

住吉 太幹

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター情報管理・解析部部长

仙波 純一

さいたま市立病院精神科部長

野田 幸裕

名城大学薬学部病態解析学I教授

吉尾 隆

東邦大学薬学部臨床薬学研究室教授

テーマ

統合失調症患者の服薬アドヒアランス

薬物治療は統合失調症治療の中核を成し、その継続は再発を防ぐためにも必須である。しかし実際は、服薬アドヒアランスが低下し治療を中断した結果、再発してしまうケースがあとを絶たない。その要因として患者・医療者双方におけるさまざまな問題が挙げられ、解決のためには多職種チームによるアプローチが必須である。そこで本座談会では、薬物治療の中心を担う医師と薬剤師にそれぞれの立場から、服薬アドヒアランスを低下させる要因とその向上のためのポイントについてご討議いただいた。